

(17S-N001)

土壌残留試験圃場試験明細書

(試験期間 平成29年6月 ~平成30年6月)

1. 被験物質

- (1) 被験物質名及び剤型 トルピラレート水和剤(ブルーシアフロアブル)
(2) 有効成分名及び成分含有率 トルピラレート:10.4%
(3) 被験物質のロット番号 〇〇〇〇

2. 圃場試験実施機関

- (1) 試験実施機関名 公益財団法人日本植物調節剤研究協会 福島試験地
(2) 試験圃場所在地 福島県郡山市日和田町〇〇〇〇

3. 試験担当者氏名

小澤 一夫

4. 土壌特性

- (1) 土壌群(土壌統群) 風化変質赤黄色土
(2) 成因:火山灰・沖積・洪積等の概記 洪積
(3) 粒径組成及び土性
①粒径組成 粘土 20.9%、シルト 23.2%、細砂 20.9%、粗砂 35.0%
②土性 埴壤土
(4) 主要粘土鉱物の種類 カオリン、モンモリロナイト
(5) 有機炭素含量 6.9 g/kg (0-10 cm 以下0cm) 6.9 g/kg (10-20 cm 以下10cm)
(6) 土壌pH H_2O 5.6 (0cm) H_2O 5.6 (10cm)
 KCl 5.1 (0cm) KCl 5.1 (10cm)
(7) 陽イオン交換容量(CEC) 15.9 cmolc/kg (0cm) 15.9 cmolc/kg (10cm)
(8) リン酸吸収係数 6.3 g/kg (0cm) 6.3 g/kg (10cm)
(9) 最大容水量 593 g/kg (0cm) 593 g/kg (10cm)
(10) 仮比重 0.90 (H29.6.7採取、0 cm) 0.90 (H29.6.7採取、10 cm)
(11) 減水深(水田の場合) -

5. 当該圃場における作付作物及び農薬使用実績(過去1年間)

作物なし、農薬なし

6. 圃場の管理

- (1) 耕耘 平成29年6月5日にロータリー耕起
(2) 水管理(水田の場合) -
(3) 灌水の時期及び量 灌水なし、pF値は気象表に記載
(4) 被験物質以外の農薬の使用状況 使用なし
(5) その他 -

(17S-N001)

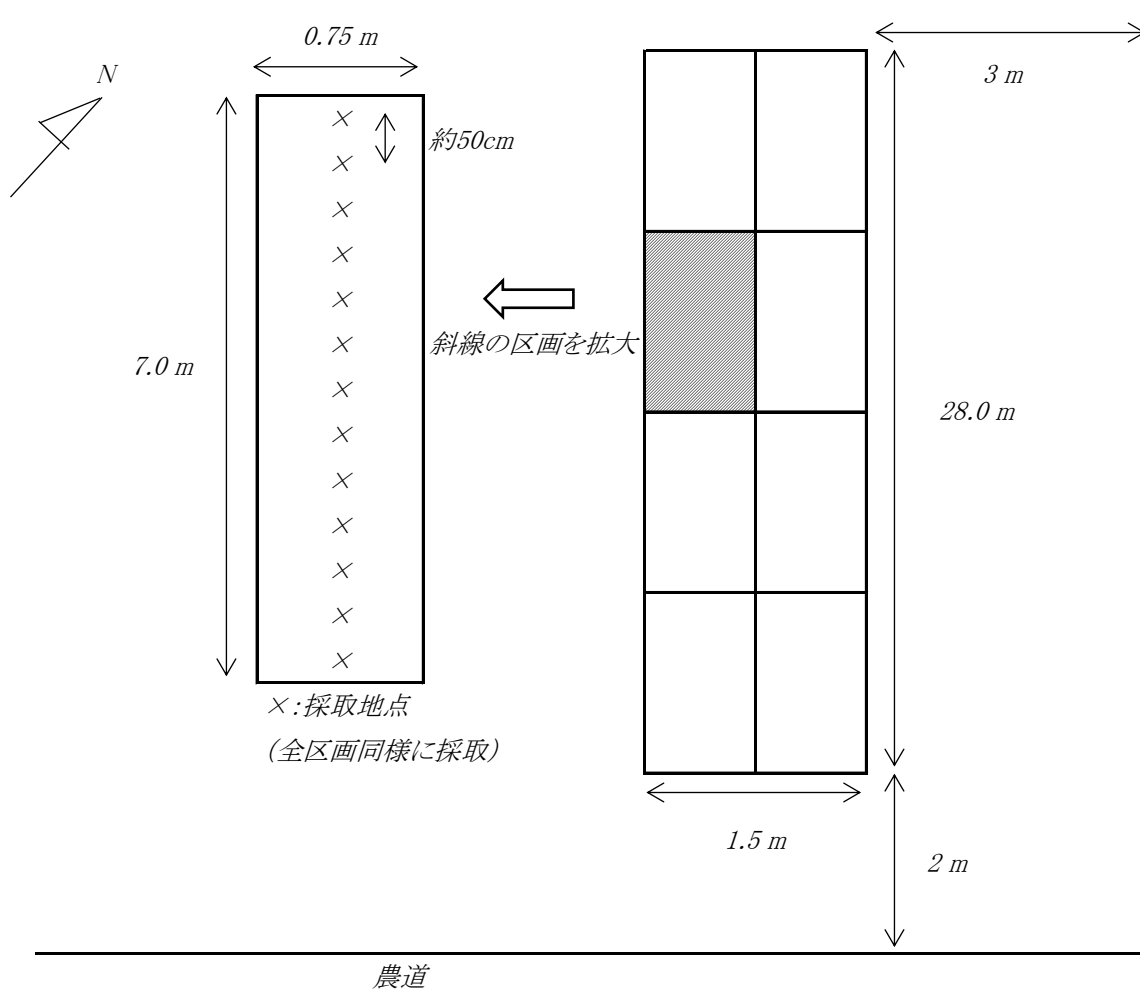
7. 試験区

(1) 1試験区の面積 $42.0 \text{ m}^2 (1.5 \text{ m} \times 28.0 \text{ m})$

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ -

(3) 試験区の配置図

〇〇圃場



8・処理方法

処理年月日	処理濃度	処理量		処理方法	処理時刻・処理時の天候を含む処理時の 天気概況(風向、風速)、降雨・風による影響
		10a当たり	試験区あたり (農薬量/散布量/面積)		
H29.6.12	1000倍	100 mL /100L	4.2 mL/4.2 L/42m ²	全面散布	10:10処理、晴、東の風1m/s、 処理への影響なし

(1) 展着剤 なし

展着剤名 - 濃度または量 -

(2) 処理の詳細(散布器具、湛水散布時の水管理、土壌混和時の深度及び土壌水分等)

炭酸ガス加圧式散布器(4頭口、TeeJet8002VSノズル、散布圧0.2 Mpa)で、試験区全面に均一に散布した

9. 試料採取

処理回数	採取時期	採取年月日	採取位置	採取量	採取時の天候	送付年月日	備考*
1	処理直前 (無処理)	H29.6.12	0-10cm	4.3kg	晴	H29.6.12	
			10-20cm	1.1kg			
2	処理直後	H29.6.12	0-10cm	4.3kg	晴	H29.6.12	処理3時間後採取
			10-20cm	1.1kg			
3	処理1日後		0-10cm				
			10-20cm				
4	処理3日後		0-10cm				
			10-20cm				
5	処理7日後		0-10cm				
			10-20cm				
6	処理14日後		0-10cm				
			10-20cm				
7	処理30日後		0-10cm				
			10-20cm				
8	処理60日後		0-10cm				
			10-20cm				
9	処理90日後		0-10cm				
			10-20cm				
10	処理120日後		0-10cm				
			10-20cm				
11	処理180日後		0-10cm				
			10-20cm				
12	処理270日後		0-10cm				
			10-20cm				
13	処理360日後		0-10cm				
			10-20cm				

*処理直後採取時は処理後の経過時間、水田の場合は田面水の高さを記入

(1) 試料採取方法(使用した器具、採取方法の詳細)

0-10cmまでは内径8cmの採土管、10-20cmまでは内径5cmの採土管を用いて採取した。試験区を8区画に分け、採取日に各8区画の任意の1地点より、各採土管を用いて地表面より10cmの深さと、10cmから20cmまでの深さごとに柱状に採取・混合して1試料とした。なお、採取箇所が重ならないように一度採取したところに目印の棒を立て、約50cmあけるようにして採取した。

10. 採取後の調製・梱包方法

(1) 採取・梱包方法

試料は2重のポリ袋に入れて密封した後、送付カードとともに段ボール箱に梱包した。

(2) 試料送付先 石原産業株式会社 中央研究所

(3) 試料の輸送方法 ヤマト運輸の宅急便(冷凍)で分析機関へ送付した。

11. 気象表 別紙参照

12. 備考 -

(17S-N001)

気象表

観測地点 福島県農業総合センター気象観測施設
 圃場試験場所 公益財団法人日本植物防疫協会 福島試験地 ○○圃場
 気温:平均気温 1 時間毎 降水量:日界 0 時

記号 ○:薬剤処理日

△:試料採取日

(平成29年)

月	日	気温	降水量	PF*	備考**	月	日	気温	降水量	PF*	備考**	月	日	気温	降水量	PF*	備考**		
6	1					7	1					8	1						
	2						2						2						
	3						3						3						
	4						4						4						
	5						5						5						
	6						6						6						
	7						7						7						
	8						8						8						
	9						9						9						
	10						10						10						
	11						11						11						
	12						△○△	12							12				
	13						△1日後	13							13				
	14							14							14				
	15						△3日後	15							15				
	16							16							16				
	17							17							17				
	18							18							18				
	19						△7日後	19							19				
	20							20							20				
	21							21							21				
	22							22							22				
	23							23							23				
	24							24							24				
	25							25							25				
	26						△14日後	26							26				
	27							27							27				
	28							28							28				
	29							29							29				
	30							30							30				
						31						31							

* 週に1回以上計測 **灌水をした場合は灌水量を記入

薬剤処理日 (ガス抜き等を含む)、試料採取日等を記号で記入する。